

## 伊豆大島の火山活動\*

### Volcanic Activity of Izu Oshima Volcano

防災科学技術研究所\*\*

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2007年6月から2008年5月の期間における伊豆大島の火山活動の観測結果について報告する。第1図は当該期間中の伊豆大島の震源分布である。主に島内および西海岸付近の深さ10km以浅で地震活動が発生している。2007年7月に島西部から西方沖を中心に群発地震活動が発生したが、8月以降は低調になった。最大地震はM3.8である。また2007年6月から8月にかけて島の北西部を中心に火山性微動が観測された。震源は気象庁C観測点付近と推定される。カルデラ内部の3km以浅では小規模な地震活動が続いており、低周波地震も散発的に発生している。

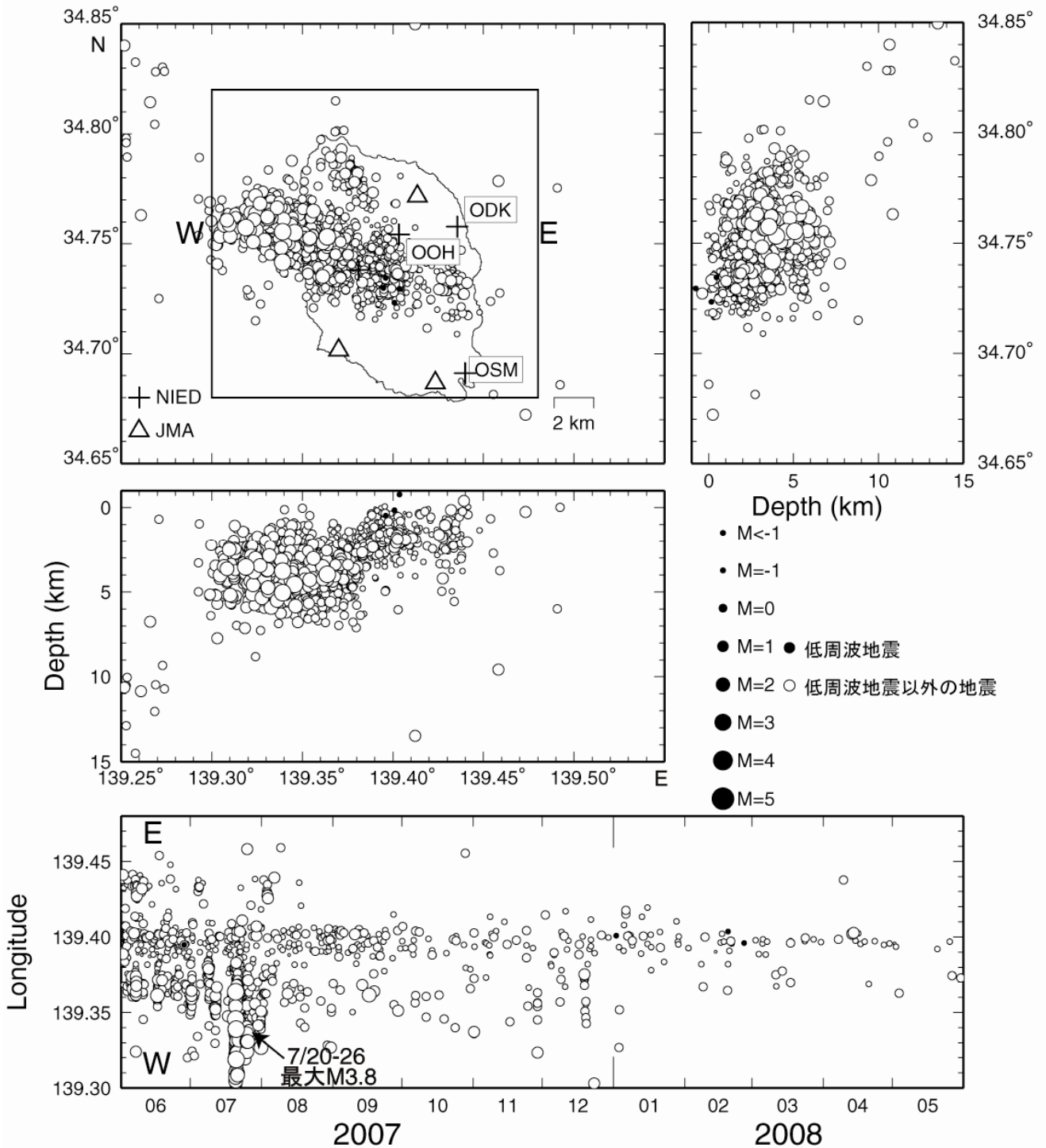
第2図は、防災科学技術研究所の伊豆大島火山活動観測網に設置した4ヶ所のボアホール式傾斜計のデータ（正時値）である。2008年3月頃から島の収縮を示唆するドリフト方向の変化が見られる。

---

\*2009年8月31日受付

\*\*上田英樹、藤田英輔、山本英二、鶴川元雄

### 伊豆大島の震源分布 (2007/6/1~2008/5/31, 15km以浅)

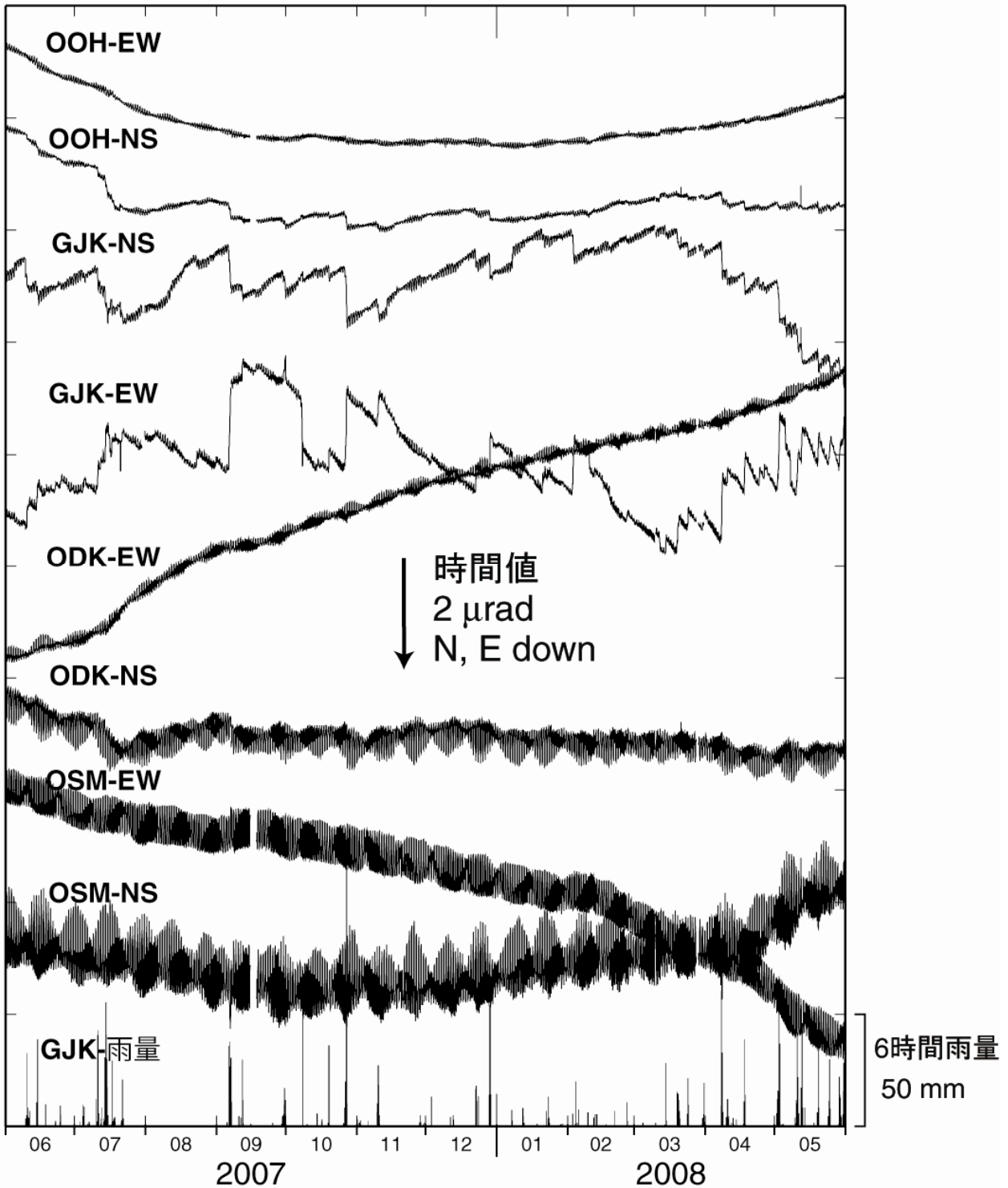


第1図 伊豆大島の震源分布および時空間分布図。低周波地震は●で示す。表示期間は2007年6月1日~2008年5月31日。

Fig. 1 Hypocenter distribution around Izu-Oshima for the period from June 1, 2007 to May 31, 2008.

Solid circles indicate locations of the low frequency earthquakes.

伊豆大島の傾斜変動 (2007/6/1~2008/5/31)



第2図 防災科学技術研究所・伊豆大島火山活動観測網による傾斜変動観測結果。表示期間は2007年6月1日~2008年5月31日で、表示データは時値(毎正時の値)。破線で示す時期にドリフトの方向が変化している。

Fig. 2 Tilt changes observed by the NIED Izu-Oshima volcano observation network for the period from June 1, 2007 to May 31, 2008. Hourly data are plotted.